

(参考)受注実績内訳

(単位:百万円未満切り捨て)

区		分	平成18年 3月期 第1四半期	平成17年 3月期 第1四半期	比較増減	増減率
建設事業	土木	国内官公庁	21,334 (29.0%)	25,156 (40.9%)	△ 3,821	△ 15.2%
		国内民間	6,158 (8.4%)	5,724 (9.3%)	433	7.6%
		国内計	27,492 (37.4%)	30,881 (50.2%)	△ 3,388	△ 11.0%
		海外	6,299 (8.6%)	576 (0.9%)	5,722	992.5%
		計	33,792 (45.9%)	31,458 (51.1%)	2,334	7.4%
	建築	国内官公庁	3,090 (4.2%)	4,113 (6.7%)	△ 1,023	△ 24.9%
		国内民間	36,063 (49.0%)	25,037 (40.7%)	11,026	44.0%
		国内計	39,153 (53.2%)	29,151 (47.4%)	10,002	34.3%
		海外	214 (0.3%)	24 (0.0%)	189	779.3%
		計	39,368 (53.5%)	29,175 (47.4%)	10,192	34.9%
	合計	国内官公庁	24,425 (33.2%)	29,270 (47.6%)	△ 4,845	△ 16.6%
		国内民間	42,221 (57.4%)	30,762 (50.0%)	11,459	37.3%
		国内計	66,646 (90.6%)	60,032 (97.6%)	6,614	11.0%
		海外	6,513 (8.9%)	600 (1.0%)	5,912	983.9%
		計	73,160 (99.5%)	60,633 (98.5%)	12,526	20.7%
開発事業等			398 (0.5%)	906 (1.5%)	△ 507	△ 56.0%
合計			73,558 (100.0%)	61,539 (100.0%)	12,018	19.5%

(注) ()内のパーセント表示は構成比率

[個別受注実績に関する定性的情報等]

国内土木に関しましては、官公庁工事の減少により、対前年同期比11.0%減となりました。一方、国内建築は、超高層マンションの受注などが寄与し、対前年同期比34.3%増となったため、国内工事全体としては対前年比11.0%増となりました。

海外については、シンガポールの橋梁工事受注等により、前年より大幅に増加しました。

通期受注目標に対して、総じて順調に推移しております。

(2) 当該四半期において財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

本年5月11日に第2回無担保転換社債型新株予約権付社債150億円を発行いたしました(4月25日適時開示)。また、総額200億円のコミットメントラインの設定を行いました(7月1日適時開示)。これらの施策により、資本の充実と有利子負債の前倒し返済が可能となり、新しい中期経営計画「Evolution21」(5月23日適時開示)の最終年度(平成20年3月期)には、自己資本比率20%以上、総資産に対する有利子負債比率30%以下、という財務目標が達成できる見込みです。

以上